

日光小学校建設用地の

造成工事始まる

日光小学校の新校舎を建設するための校地造成工事が十二月二十七日に開始され、現在、工事は順調に進んでいます。

造成場所は、日光ユースホステル前の埋立地で、造成面積は三四六〇〇平方メートルの広さです。現在進めているのは、石積みと盛土工事ですが、工事が完成すれば、石積

造成工事が始まった校舎建設地



み基礎が五三〇坪、積みブロックの面積が一、三六六平方メートル、土留めコンクリートの延長が一八〇坪ほどになります。

完成は三月末で、総工事費は四千七百八十万円です。

市道三四九号線(野口)

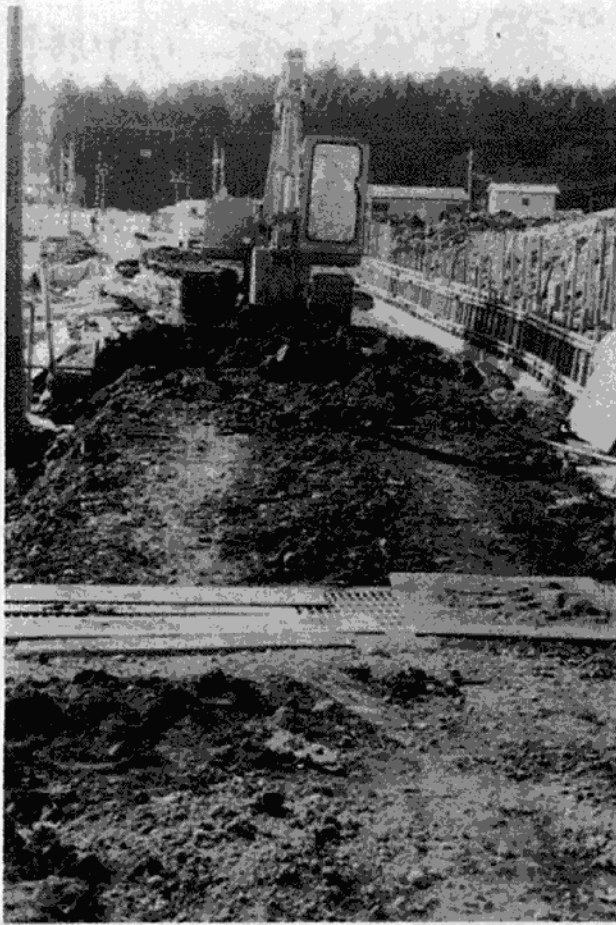
改良工事進む

野口地内の国道から内合に行く市道三四九号線の道路改良工事は、昨年十二月に着工、今月中旬には完成します。

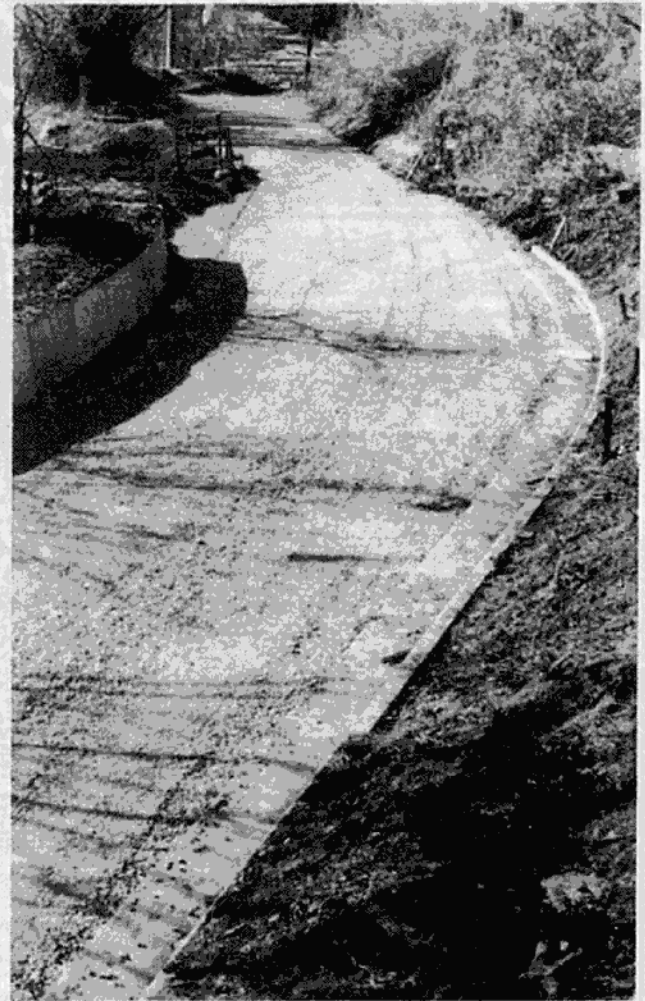
改良される道路延長は一〇二坪、幅員五坪、工事費五百五十四万円、U型側溝が国道から踏切に向かい

右側七六坪に整備されます。

この工事が完成すれば、今まで車一台の通行がやっとだった道路が五坪に拡張されるため、車の交差が容易になり、また、和泉から内合を経由して国道に出るのにも大変便利になりました。



工事が進む市道349号線



砂利敷き工事が済んだ七里上野線

農道 七里上野線の 舗装工事完成

野口小学校から上野に行く、農道七里上野線の舗装工事が一月末に完成しました。

完成した道路は、延長二二四坪、幅員四・五坪(舗装幅員は三・五坪)で、工事費は六百十五万円。

工事が完成したことにより、農業機械の運行と農産物の集出荷が容易になるため、農産物の増収をはかることができます。

表紙のことは

表紙シリーズ

日光むかしがたり



伝説 山菅の蛇橋

神橋は、その昔「山菅橋」とか「山菅の蛇橋」と呼んだという。この橋には、山菅と蛇にまつわる伝説があるからである。

千二百年前、勝道上人は、十人の弟子をともなつて、古峰ヶ原から尾根伝いに鳴虫山を経て、神橋のところにとどりついた。そこは、川巾は最もせまかったが、兩岸が絶壁で、とても渡ることができない。当時の修業者は、困難に逢った時、護摩を焚いて、神仏に加護を求めることが多く、一行もそのとおりにすると、不思議にも雲の中から、赤と黒との衣をまとった怪物が現れた。「われは深沙大王である。汝らが難儀に逢い、救い